

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
 株式会社 ルネサス テクノロジ
 問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>
 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-16C-A161A/J	Rev.	第1版
題名	R8C/20～29 グループ シリアルインタフェースのエラーフラグに関する注意事項		情報分類	技術情報	
適用製品	R8C/20 グループ, R8C/21 グループ R8C/22 グループ, R8C/23 グループ R8C/24 グループ, R8C/25 グループ R8C/26 グループ, R8C/27 グループ R8C/28 グループ, R8C/29 グループ	対象ロット等	関連資料		
		- -			

1. 注意事項

シリアルインタフェースのクロック同期形シリアル I/O モード、およびクロック非同期形シリアル I/O (UART) モード使用時に、下記の通りエラーフラグが保持されません。

- 1) オーバランエラー発生時にオーバランエラーフラグ (OER) が“1”にセットされますが、次の転送クロックが発生すると“0”にクリアされます。
 図1、図2のA点
- 2) フレーミングエラー発生時にフレーミングエラーフラグ (FER) が“1”にセットされますが、次の転送が完了すると“0”にクリアされます。
 図2のB点
- 3) パリティエラー発生時にパリティエラーフラグ (PER) が“1”にセットされますが、次の転送が完了すると“0”にクリアされます。
 図2のB点

注：2)、3)はクロック非同期形シリアル I/O モードのみです。

2. 動作説明

- 1) クロック同期形シリアル I / O モード時の受信動作

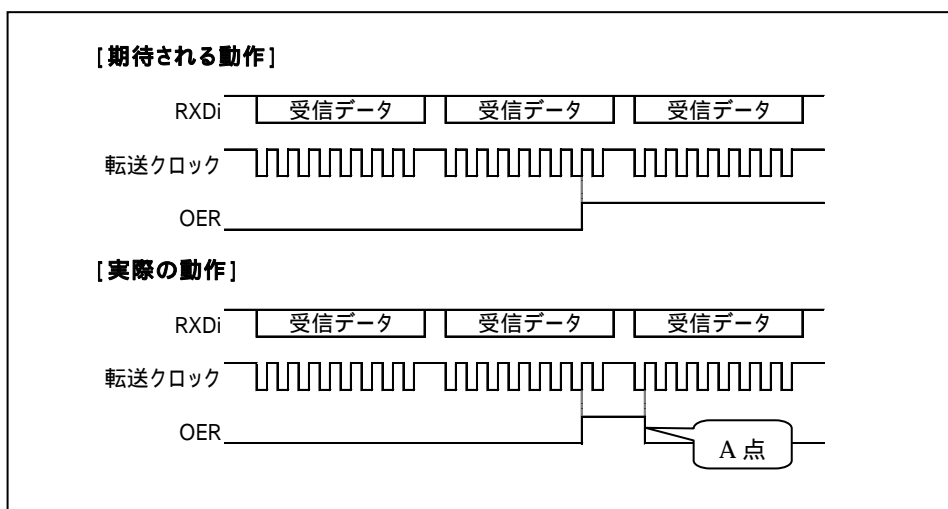


図1. クロック同期形シリアル I / O モード時の受信動作

2) クロック非同期形シリアルI/Oモード時の受信動作

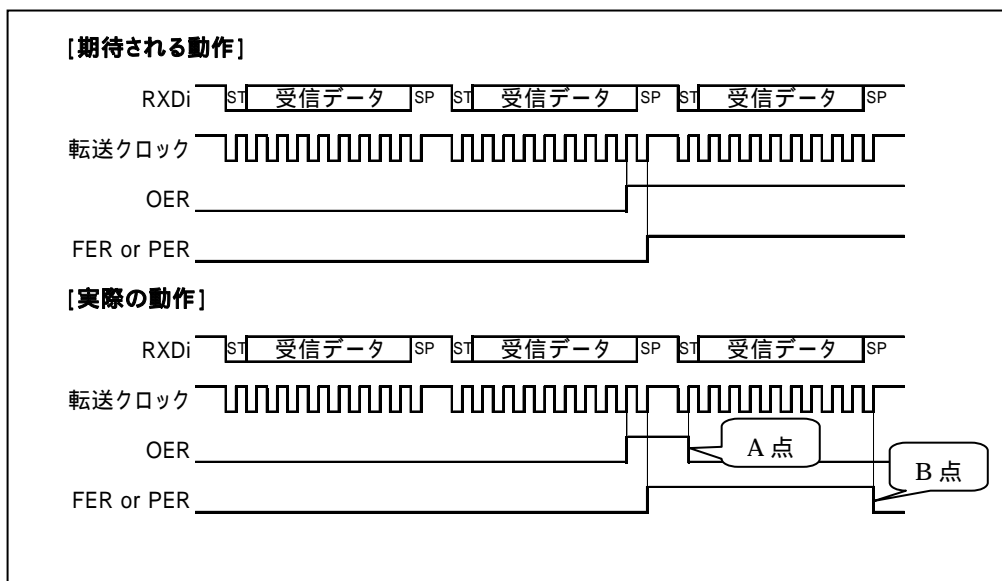


図2. クロック非同期形シリアルI/Oモード時の受信動作

3. 対策

下記の対策を実施してください。

1) オーバランエラーフラグ

次の転送クロックが発生する前にエラーフラグのチェックを実施してください。

2) フレーミングエラーフラグ

次の転送が完了する前にエラーフラグのチェックを実施してください。

3) パリティエラーフラグ

次の転送が完了する前にエラーフラグのチェックを実施してください。

4) エラーサムフラグ

上記何れかのフラグが“1”になった場合に“1”になるフラグです。よって上記と同様のタイミングでのチェックを実施してください。

4. 今後の予定

ハードウェア改訂を'07/2Q から順次実施していく予定です。

品種毎の改訂スケジュールおよび識別などに関しましては、ルネサス営業にご確認ください。

5. その他

シリアルライタまたはオンチップデバッグエミュレータとの接続には影響ありません。

フルスペックエミュレータまたはコンパクトエミュレータを使用される場合は上記の対策を実施してください。

以上